

2024年5月 春夏号

# 訪問診療通信

佐野厚生総合病院

真夏のような暑さを感じる季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。例年より遅れて咲いた桜もあっという間に満開の時期を過ぎてしまいました。緑がまぶしい今日この頃です。

新年度がスタートし2か月が過ぎました。訪問診療科を取り巻く環境も大きく変わる年度となりそうです。診療報酬が改定され、これまで以上の医療介護連携の強化といった地域医療への参画の深化が求められます。訪問診療を取り巻く多職種の方々からご指導をいただきながら、よりよい訪問診療を目指したいと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

4月16日、佐野医師会・病院連携協議会に参加しました

当院において佐野市医師会・病院連携協議会を開催しました。佐野市医師会、佐野医師会病院、佐野メディカル、当院の関係者が集い、それぞれの課題を発表し共有する機会となりました。参加者一同、地域における厳しい回復期病床不足を再認識し、今後、佐野市民の回復期・療養期の医療や暮らしを市内で継続するために、役割分担と医療連携の大切さを再確認する場となりました。



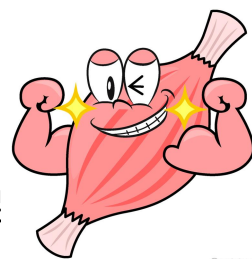
当院訪問診療科からは、2022年9月の立ち上げからの在宅と病院での看取り等の活動報告をいたしました。

## 貯筋

コラム～住み慣れた地域で過ごすために～

## フレイル予防をしよう

フレイルとは、病気ではないけれどもも虚弱な状態、正しい生活支援を受けることで元に戻る、健康と病気の間のことをいいます。具体的には、1年間に体重が5%減少する、歩行速度が低下するなど筋肉不足で生じます。



- ①足の筋肉が衰えることにより
- ②動くと疲れやすくなり
- ③全身の活動量が低下します。すると動く量が減ることから
- ④お腹がすかなくなることで
- ⑤食欲低下から栄養不足になり
- ⑥更なる筋肉量の低下を招きます。

老後の生活は【2000万円問題】と貯金も大切ですが、**健康を先取りする貯筋がとても大切**です。リハビリテーション科